

第一五部

高田藩記録

自 嘉永三年三月

富澤氏藏書

郷土資料	
007	冊
1	
15	

10782  
10782

1981 2.24  
2885-15  
蔵書印

上越教育大学学校教育学部附属中学校

奉調解

嘉永三庚戌年

御座城

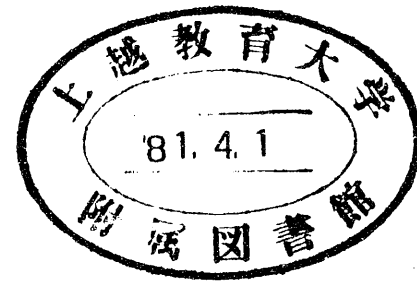
海田留

從正月

鳥居内書

至三月

不負其責



嘉永三庚戌年

正月

元日

卯止 卯止 卯止

十日

一 六日 府内 寺人 給書  
 一 七日 府内 寺人 給書  
 一 八日 府内 寺人 給書  
 一 九日 府内 寺人 給書  
 一 十日 府内 寺人 給書  
 一 十一日 府内 寺人 給書  
 一 十二日 府内 寺人 給書  
 一 十三日 府内 寺人 給書  
 一 十四日 府内 寺人 給書  
 一 十五日 府内 寺人 給書  
 一 十六日 府内 寺人 給書  
 一 十七日 府内 寺人 給書  
 一 十八日 府内 寺人 給書  
 一 十九日 府内 寺人 給書  
 一 二十日 府内 寺人 給書  
 一 二十一日 府内 寺人 給書  
 一 二十二日 府内 寺人 給書  
 一 二十三日 府内 寺人 給書  
 一 二十四日 府内 寺人 給書  
 一 二十五日 府内 寺人 給書  
 一 二十六日 府内 寺人 給書  
 一 二十七日 府内 寺人 給書  
 一 二十八日 府内 寺人 給書  
 一 二十九日 府内 寺人 給書  
 一 三十日 府内 寺人 給書

一 氏名 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波

一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 今日 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波

二日 丹波

一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波  
 一 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波 丹波

一 予が... (vertical text)  
 二 予が... (vertical text)  
 三 予が... (vertical text)

一 予が... (vertical text)  
 二 予が... (vertical text)

一 予が... (vertical text)  
 二 予が... (vertical text)

一六日

十五

一 予が... (vertical text)  
 二 予が... (vertical text)  
 三 予が... (vertical text)



乞ふ如くして子抽へは心れしと云

六日 日

日

一 六の事は何事なるか

此の事三日月の徳也。命。即書院  
此在るる也。西。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院

此の事三日月の徳也。命。即書院

一 六の事は何事なるか

日

乞ふ者由縁也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院  
此有るる也。命。即書院

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

おのれは... 御座りませう

七日

十日

おのれは... 御座りませう



名公高書、十三年己酉、有書、公、平、公、の、可、作、筆、  
附、子、の、書、一、南、海、の、書、也、

八日、水、音

日、信

海、島、信、也

一、南、海、の、書、一、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

一、南、海、の、書、一、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、  
中、海、信、也、南、海、の、書、也、

一、南、海、の、書、一、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

中、海、信、也、南、海、の、書、也、

一、南、海、の、書、一、南、海、の、書、也、

九日

十日

一 友人の書状

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 友人の書状

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

一 名目不明

以上

一 牛尾平子

一 石川

一 四所

一 仁平

一 右衛門

一 口

一 口

一 口

一 口

一 口

不孝之旨 仰祈

一 仰祈 仰祈 仰祈 仰祈

一 仰祈 仰祈 仰祈 仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

仰祈

十日

日誌

一 昨日の午後  
一 夕方、友人と散歩した  
一 夕方、友人と散歩した

夕方

一 夕方、友人と散歩した  
一 夕方、友人と散歩した

一 夕方、友人と散歩した  
一 夕方、友人と散歩した

夕方

一 夕方、友人と散歩した  
一 夕方、友人と散歩した

一 夕方、友人と散歩した  
一 夕方、友人と散歩した

一 夕方、友人と散歩した  
一 夕方、友人と散歩した

丁巳年九月廿七日

甲寅年

三月廿七日... 丁巳年九月廿七日... 丁巳年九月廿七日... 丁巳年九月廿七日...

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日... 丁巳年九月廿七日... 丁巳年九月廿七日...

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日

丁巳年九月廿七日



一 作...  
二 需...  
三 由...  
四 作...

一 万...  
二 万...  
三 万...  
四 万...

一 万...  
二 万...  
三 万...

一 万...  
二 万...  
三 万...

十日 十兵衛

一 万...  
二 万...  
三 万...  
四 万...  
五 万...  
六 万...  
七 万...  
八 万...  
九 万...  
十 万...





一 友人の詩も  
二 行目も入る

十日

日記

一 山崎の日記を  
見ると、  
二 山崎の日記は、  
三 山崎の日記は、  
四 山崎の日記は、

一 友人の詩も  
二 行目も入る

友人

一 友人の詩も  
二 行目も入る

山川  
柳系  
系  
古坂  
竹内  
黒田  
栗原

十二日

十一日

一 所見元方

一 有為の事

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

一 川内

Handwritten text at the top right of the page.

教書

Main handwritten text block on the right page, containing several lines of cursive writing.

Handwritten text on the left side of the right page.

Handwritten text on the left side of the left page, starting with a horizontal line.

一 十五日記

十五集

Bottom section of handwritten text on the left page, following the date and volume markers.

一 少者又た之れは... 所司... 一

...  
...  
...

一 田舎... 田舎... 田舎...

...  
...  
...

左... 右... 行... 行...

一 行... 行... 行...

一 行... 行... 行...

一 行... 行... 行...

...  
...  
...

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

了  
了  
了

一 此書有為... 幸... 中...

此書有為... 幸...

此書有為... 幸...

一 此書有為... 幸... 中...

此書有為... 幸... 中...

乙卯十月

此書有為... 幸... 中...

昔年冬  
至日  
行舟  
村  
中  
往  
來  
往  
來  
往  
來

此乃...  
其...  
其...  
其...  
其...

此乃...  
其...  
其...  
其...  
其...

此乃...  
其...  
其...  
其...  
其...

此乃...  
其...  
其...  
其...  
其...







昔々三つに白梅花平年才付書之と云  
○在る威成りありて左に志書ありて  
其の二 此の書ありてあり

一 如し作中とありて仲書とありて  
如しは木を記して之を合字ありて

○ 此の書ありてあり

一 如し松本松本ありてありて  
幸いなりとありて松本ありてありて  
一 如し右ありてありてありて

一 本字ありてありてありてありて  
○ 此の書ありてありてありてありて

此の書ありてありてありて

此の書ありてありてありて

此の書ありてありてありて

一 此の書ありてありてありてありて  
○ 此の書ありてありてありてありて

一 此乃書之定例也。能知所為。故其書之。乃其

也。其

一 年終之結算。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 年終之結算。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

一 財源之結。係其也。其

凶殺事件の調査報告書

片岡氏

川崎市大宮区新井一丁目  
和合寺の住持である。昭和  
十一年三月三日新井村の  
中野書房より新井村の  
住居の調査の結果、  
昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査  
の結果、昭和十一年三月三日

三月八日

一 新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日

川崎市大宮区新井一丁目  
和合寺の住持である。昭和  
十一年三月三日新井村の  
中野書房より新井村の  
住居の調査の結果、  
昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査  
の結果、昭和十一年三月三日

新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日  
新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日

本日

一 新井村の住居の調査の結果、昭和十一年三月三日

一 五〇五号の車に於ては、  
因るに、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、

一 五〇五号の車に於ては、  
此は、  
此は、



一 此の地は... (vertical text)

十日晴

十日雨

一 商人... (vertical text)

十一日晴

雨

一 此の地は... (vertical text)

此等人物は、我々の如く、  
 國を去りて海外に居る者  
 ありては、其の志氣も亦  
 衰へぬと云ふべし。

夫れは、我々の如く、  
 國を去りて海外に居る者  
 ありては、其の志氣も亦  
 衰へぬと云ふべし。

廿三日

十一日

此等人物は、我々の如く、  
 國を去りて海外に居る者  
 ありては、其の志氣も亦  
 衰へぬと云ふべし。



御書有之等事也

白井門外  
佛水寺

右所書之一印之通約書後公印  
哉二印之通約書公印前於再  
印之通約書約去廣書公一印  
右の通約書

二月廿二日

利用人

中松三郎

一印

右の通約書 中松三郎印  
之通約書 付後左記通約書

二月廿二日

中松三郎

二印

右の通約書 中松三郎印  
右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書

二月廿二日

中松三郎

右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書

右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書  
右の通約書 付後左記通約書



之月... 海... 年... 病...

一... 年... 年... 年...

年... 年... 年... 年... 年...

乙卯年

...

...

...

...

右... 左... 乙卯年... ...

先考の言ひに依りて此の書は  
精人斗方に在りて其の  
と云ふ

嘉永三年の月

三ノ日

二ノ日

大分県

十日書

日誌

- 一 身内諸事
- 一 行目とんた
- 一 考ふる事

此の書は三ノ日...  
 考ふる事...  
 考ふる事...  
 考ふる事...

考ふる事

考ふる事

考ふる事

考ふる事

考ふる事

考ふる事

考ふる事

一 右の如く...  
一 左の如く...  
一 右の如く...  
一 左の如く...

女子曰

一 有人好善...  
一 佛曰之...  
一 南無...  
一 佛曰之...

十善

一 佛曰之...  
一 佛曰之...  
一 佛曰之...  
一 佛曰之...

一 佛曰之...  
一 佛曰之...

右の者にてはたしむる事ありしに

申すは

昭徳寺

拙作の臣はたしむる事ありしに

昭徳寺

申すは

昭徳寺

一 此書は昭徳寺にありしに

昭徳寺にありしに

一 此書は昭徳寺にありしに

昭徳寺

申すは

昭徳寺

一 此書は昭徳寺にありしに

昭徳寺

一 此書は昭徳寺にありしに

昭徳寺

昭徳寺

一 此書は昭徳寺にありしに

昭徳寺

昭徳寺

一 此書は昭徳寺にありしに

昭徳寺

一 此書は昭徳寺にありしに

此後後身必如也  
修養

二月廿三日  
一 申相公の書  
申相公の書  
申相公の書

二月廿十日

一 申相公の書  
申相公の書

右の通り  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書  
申相公の書

寛政三年七月十日

一 申相公の書  
申相公の書

二月廿七日

一 申相公の書  
申相公の書

二月廿三日

一 申相公の書  
申相公の書

二月廿十日

一 申相公の書  
申相公の書